

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 24.11.8 第 181 回国会第 2 号

11 月 8 日（木）第 2 回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・郡司農林水産大臣、佐々木農林水産副大臣、吉田農林水産副大臣、糸川厚生労働大臣政務官、梶原農林水産大臣政務官、鷲尾農林水産大臣政務官、岸本内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

今村雅弘君（自民）

- ・諫早湾干拓事業の潮受堤防の排水門の開門をノリ養殖の最盛期である来年 12 月に行うことについて、どのように考えているのか。
- ・昨日の財政制度等審議会の分科会に財務省が提出した資料において、水田活用の交付金が無駄であるかのような説明がされていることについて、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・米の作柄がやや豊作であるにもかかわらず、米価が高いことについて、どう認識しているのか。

赤澤亮正君（自民）

- ・東日本大震災からの復旧の進捗率が低いことについて、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・TPP について、国内対策を示すことなく交渉参加に向けた協議を行っているが、それで国民の理解が得られるのか。
- ・戸別所得補償制度が導入されたにもかかわらず、食料自給率が低下している中で、平成 32 年度の食料自給率目標 50% の達成について、農林水産大臣はどのように考えているのか。

北村誠吾君（自民）

- ・諫早湾干拓事業の潮受堤防の排水門の開門については誤った判断と考えるが、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・潮受堤防の排水門を開門せずに有明海を再生できるとする調査・研究も発表されているが、どのように考えているのか。
- ・多額の費用を投入して調整池の淡水化を行ったにもかかわらず、開門することについて、どのように考えているのか。

石田三示君（生活）

- ・食料自給率目標の達成に向けて工程表を作るべきではないか。
- ・東アジアサミットでの総理の TPP 交渉参加表明が懸念されているが、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・自伐林業方式を更に広めるために国の支援が必要だと考えるが、平成 25 年度予算概算要求で計上されている森林・山村資源利用交付金は自伐林業方式の取組も支援対象としているのか。

中野渡詔子君（生活）

- ・原発事故からの復興のために、十分な研究開発予算を確保すべきと考えるが、農林水産物中の放射性物質の全量検査の導入に向けてどのように考えているのか。
- ・財政制度等審議会の分科会で戸別所得補償制度が批判されたが、農林水産大臣は同制度の定着に向けて取り組む姿勢をしっかりと示すべきではないか。
- ・農林水産大臣の今年 6 月の就任挨拶と昨日の所信的発言における国際交渉に関する発言内容に変化はみられないが、農林水産大臣は TPP についてどのように考えているのか。

石田祝稔君（公明）

- ・BSE 対策の見直しに係る食品健康影響評価を受けて、と畜場における検査対象が 30 か月齢以上に変更されるが、全頭検査を実施している自治体への支援措置は今後どうするのか。
- ・価格が低迷していた極早生みかんについて緊急需給調整特別対策事業が実施されたが、同事業の内容及び効果はどのようなものか。
- ・東日本大震災で被害を受けた水産業の復興を進めるために、共同利用漁船等復旧支援対策事業の活用を進めるべきではないか。